ホッとな地域の話題
-6次産業化編-

名前
卜部（うらべ）　悠人（ゆうと）





経営の概要

- 地　　域　中川町
- 品　　目　エゾシカ
- 開始年月　令和7年8月
- 前　　歴　大学生

取組について

令和7年8月に地域おこし協力隊（起業型）として中川町へ移住。エゾシカの捕獲・処理・販売を主軸に狩猟体験やガイド事業など「食と体験」の事業を営んでいる。

現在は年間で100頭ほど処理しており、ペットフードが製造量の6割を占めている。ペットフードは生肉タイプとジャーキー等の加工肉タイプがあり、共にBtoBでの取引がメインで、余すところなく販売ができている。食肉は札幌と関東の飲食店4店舗ほどに卸している。

取組の成果と課題

中川町の地域おこし協力隊は仲間意識が強い。卜部さんが処理した鹿肉を使って別の協力隊員が商品開発などを行っており、こうした経験豊富で層が厚い先輩や仲間の支えがイベント出店等にもつながっている。また、食肉加工においては、地域おこし協力隊OBの先輩ハンターが保健所の許可を得た食肉加工処理施設を持っており、その施設を借りて精肉にするなど助け合いながら活動している。

収入を増やすためには処理頭数を増やす必要があるが、現在は狩猟から販売まで1人で行っており、事務作業等にも時間がかかるため、処理できる頭数に限りがある。また、施設の処理能力にも限界があるため、設備の拡充や人員の確保が課題となっている。

今後の展望

地域おこし協力隊の任期が再来年で終わるので、それまでに自分の食肉加工処理施設を持ち、年間200頭から300頭ほど処理できるようにしたい。

ふるさと納税の返礼品にエントリーし、認知度向上・販路拡大を図りたい。

狩猟体験やガイド事業を通じて、中川町の観光コンテンツを盛り上げたい。

令和8年10月作成